

# 学校評価シート（自己評価）

宮原 幼稚園

## 1、園の教育目標

子どもを主体的な存在としてとらえ保育者が個々の特性に応じて臨機応変に発達を助けるという「子どもの人格・人間性の尊重」を基本としています。

当園の教育目標

1. 基本的な生活習慣や態度を養います。
2. 協力する心・助け合う心を養います。
3. 目標や課題をもって活動に取り組み、達成する喜びを理解します。
4. 社会の構成員たる資質を養い、人間が平等であることを理解します。
5. 5領域の基本的指導を積み上げ、生活に創意工夫をこらす態度を養います。

## 2、具体的な目標や計画

教育目標に基づいた指導計画を作成し、より質のよい教育を目指す。

安全管理に関して教職員の共通理解を持ち、子どもの健康維持と安全確保に努めていく。

## 3、評価項目の取組及び達成状況

### 年長

評価項目	結果	結果の理由
教育目標に基づいた本年度の指導計画を作成(昨年度の反省も含む)。	A	昨年度の反省をもとに、指導計画を見直して作成を行った。
指導計画による子どもへの指導の達成度。	A	小学校就学に向け、一人ひとりの自主性・自立性が育まれるよう指導にあたった。
施設・設備の安全を維持するため点検の実施。	A	毎日使用する用具や環境を確認している。
安全・健康維持に関する子どもへの指導。	A	安全な行動を理解して実行できるよう指導し、手洗いなどの健康維持にも声掛けを意識した。
緊急事態発生時マニュアルの教職員の共通理解。	A	毎月避難訓練を実施また、屋内退避なども行った。
個人情報流出防止のため、教職員及び保護者と共通認識を持つ。	A	個人情報は第三者に渡らないよう厳重に管理することを務めている。

年中

評価項目	結果	結果の理由
教育目標に基づいた本年度の指導計画を作成(昨年度の反省も含む)。	A	昨年度の反省を素に、指導計画を見直して学年に合った指導計画を作成した。
指導計画による子どもへの指導の達成度。	A	子ども自身が意欲的に取り組めるよう指導にあたった。
施設・設備の安全を維持するため点検の実施。	A	毎日、使用する用具や環境を点検・整えた。
安全・健康維持に関する子どもへの指導。	A	安全・健康について理解できるよう知識を深められるよう指導。
緊急事態発生時マニュアルの教職員の共通理解。	A	毎月避難訓練を実施し、退避・自由遊び中の避難など多様な災害に対処できるよう工夫。
個人情報流出防止のため、教職員及び保護者と共通認識を持つ。	A	第三者に渡らないよう厳重に管理するよう全職員で共通に認識しているため。

年少

評価項目	結果	結果の理由
教育目標に基づいた本年度の指導計画を作成(昨年度の反省も含む)。	A	子ども達が経験を踏んで少しずつ成長できるような内容を考えるた。
指導計画による子どもへの指導の達成度。	A	活動のねらいを理解して行う事ができた。保育の進め方・環境設定など工夫できた。
施設・設備の安全を維持するため点検の実施。	A	細目に遊具・室内の点検を行い子ども達が安全に楽しく遊べるよう努めることができた。
安全・健康維持に関する子どもへの指導。	A	園内・園外の活動において子どもの安全を第一に考え・配慮することができた。
緊急事態発生時マニュアルの教職員の共通理解。	A	毎月避難訓練を実施し経験させた。
個人情報流出防止のため、教職員及び保護者と共通認識を持つ。	A	第三者に渡らないよう厳重に管理するよう全職員で共通に認識しているため。

全体

評価項目	結果	結果の理由
教育目標に基づいた本年度の指導計画を作成(昨年度の反省も含む)。	A	勉強会などで日常的に保育を振り返り、次年度へ生かせるよう計画している。
指導計画による子どもへの指導の達成度。	A	指導案の中でも色々な状況を想定し実践することができた。
施設・設備の安全を維持するため点検の実施。	A	定期的に安全確認のため点検を実施。
安全・健康維持に関する子どもへの指導。	A	日常的に健康維持のための声掛けなどを行った。
緊急事態発生時マニュアルの教職員の共通理解。	A	定期的に全体を把握し、共通理解に努めている。
個人情報流出防止のため、教職員及び保護者と共通認識を持つ。	A	第三者に渡らないよう厳重に管理するよう全職員で共通に認識しているため。